



令和4年1月20日

久留米市長 大久保 勉 様

久留米市国民健康保険事業の運営に関する協議会  
(久留米市国民健康保険運営協議会)

会長 田中 功



令和4年度久留米市国民健康保険料率等について (答申)

令和4年1月13日付3健保第6014号をもって諮問のあった、令和4年度久留米市国民健康保険料率等については、下記のとおり答申する。

## 記

1. 医療給付費分(基礎賦課分)、後期高齢者支援金等分および介護納付金分の保険料率等については、いずれも現行どおりに据え置くものとし、賦課限度額については、国の基準とすることを了承する。

## 2. 附帯意見

被保険者の高齢化等により、一人あたりの医療費が増加傾向にあり、この状況は団塊の世代が後期高齢者医療制度へ移行するまで続くものと予測される。

これに合わせて、国民健康保険事業費納付金も増加し、国民健康保険事業特別会計の財政状況は今後一層厳しさを増していくものと考えられる。

こうした状況に対応するためには、保険料率を改定し財源の確保を図ることも一つの方法であるが、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、被保険者に更なる負担を求めることは困難であると考えます。

これらのことを踏まえつつ、市においては次の取り組みを重点的に進め、財政の健全化に積極的に努めるよう要望する。

### (1) 国民健康保険の財政安定化

国民健康保険事業費納付金の国民健康保険財政に及ぼす影響は大きく、今後も医療費の増加傾向が続けば、財源不足に陥るものと懸念される。こうした事態を解消するには公費支援の拡充が不可欠であり、医療費の動向を踏まえたうえで国に対して財政安定化のための財政措置を要望すること。

### (2) 医療費適正化の推進

国民健康保険事業の安定的な運営、並びに被保険者の健康保持・増進のためには、医療費適正化に向けた取り組みが重要である。このため、各種保健事業や特定健康診査の受診率向上、ジェネリック医薬品の普及促進などに積極的に取り組むこと。

### (3) 保険料収納率向上対策

保険料収納率は、すでに高い水準にあるが、財政健全化のためには今後もこの水準を維持していくことが重要である。このため、今後においても収納率向上対策の強化に積極的に取り組むこと。

### (4) 保険料水準の均一化

福岡県内の保険料水準の均一化を早期に実現するために、福岡県へ要望・働きかけを行うこと。